

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	都市景観整備事業						担当部	都市建設部							
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	都市政策課							
	事業期間	平成13年度			～	平成30年度以降		担当係	計画係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		21 市街地整備		3 都市景観を整えます									
		副目的														
	予算区分	款	8		項	4		目	1		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市都市景観条例、小牧市都市景観基本計画、小牧市サイン計画														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	小牧市を魅力ある美しいまちとすることを目指し、小牧市都市景観条例、小牧市都市景観基本計画に基づき、景観形成の整備等を進める。														
	内容 (手段)	<p>■25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市景観団体等への助成 小牧市都市景観条例第23条に基づき都市景観団体(1団体)へ活動費の助成を行った。 違反広告物除去 まちの美観を確保する活動として、違反屋外広告物の確認作業を直営で行い、除去業務を委託し、併せて、ボランティア4団体による違反簡易屋外広告物の除去を実施した。 サイン標識の整備・維持管理 国道41号線小牧インター出口から村中交差点区間の道路改良に伴い、サイン標識1基の移設が必要となったため、測量設計委託し、移設するための工事を実施した。 小牧市サイン計画に基づくサイン標識点検を17年度・18年度に設置したサイン標識6基の点検委託を実施した。 都市景観形成の施策検討 小牧市都市景観基本計画改訂(案)の策定委託(H25～H26)を実施した。 <p>■25年度直接経費の内訳</p> <p>都市景観団体補助金(135千円)、サイン移設工事測量設計委託料(472千円)、違反広告物除去委託料(283千円)、サイン標識点検委託料(189千円)、景観整備工事費(2,677千円)、消耗品費・手数料・保険料等(925千円)</p> <p>■26年度直接経費の内訳</p> <p>都市景観団体補助金(300千円)、都市景観形成助成金(300千円)、違反広告物除去委託料(339千円)、サイン標識点検委託料(235千円)、都市景観基本計画改訂委託料(3,675千円)、消耗品費・手数料・保険料等(2,372千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,531	9,106	4,683	7,221	
		正職員	従事者数	人	0.95	0.70	0.70	0.70
			人件費	千円	4,997	3,682	3,682	3,682
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	9,528	12,788	8,365	10,903		
対前年比	%			134.2	65.4	130.3		
財源	一般財源	千円	9,528	12,788	8,365	10,903		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	サイン設置個数	基	目標	0	2	0
実績				0	2	0	
業	サイン標識点検委託数	基	目標	10	5	6	6
			実績	10	5	6	
績	違反簡易広告物除去ボランティア団体	団体	目標	3	3	4	4
			実績	3	4	4	
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	サイン整備率	%	目標	55	56	56	56
実績			55	56	56		
績	違反簡易広告物除去数	枚	目標	—	—	—	—
			実績	473	277	670	

事業の自己評価	事業の達成状況	ボランティア団体と協力した違反広告物の除去活動及び小牧市都市景観形成重点区域(やすらぎみち)における景観団体への活動助成など概ね予定どおりの実施と成果を上げることができた。また、15年度・16年度に設置したサイン標識5基の点検を行った都市景観基本計画の改訂に向け改定(案)の検討を行った。簡易違反広告物は、市及びボランティア団体の除却活動により、減少している。	
	事業実施における課題	市内の景観を損ねる要因を排除するために、より多くの違反簡易広告物除去ボランティア団体が必要である。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	違反広告物除去活動やサイン計画に基づくサイン設置や維持管理等ができず、景観を損ねる要因を排除できなくなり無秩序な景観となる。	
	平成26年度の改善内容	平成26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	違反簡易広告物除去ボランティアの団体数を増やすための手段について、研究する。
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの
	判定理由	平成15年より活動を続けてきました「やすらぎみち協議会」について、会員の景観に対する意識の醸成や当初の目的が達成できたとの判断から、協議会が解散となり、また、小牧駅前線延伸区間(やすらぎみち)の道路拡幅による移転がほぼ終了したことから、「都市景観団体補助金」及び「都市景観形成助成金」について削減する。違反屋外広告物の除去及びサイン標識の設置・維持管理等については、引き続き実施する。	
	27年度以降の改善案	違反簡易広告物除去のボランティア団体数を増やすための手段について研究をする。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。